

6. 「企業市民活動推進センター」事業

— コンサルテーション、社員のV体験、NPOとのコーディネーション

「企業市民活動推進センター」(Center for Corporate Citizenship, CCC)は、日本生命財団の助成を受けて、1991年に開設。以来、「企業市民」活動（いわゆる、企業の社会貢献活動、CSR活動）の専門推進機関として活動している。

主な機能は、①CSRを含む「企業市民」活動全般のコンサルタントと研究会の開催、②社員・OB等の市民活動支援のための総合的支援・プログラム提供、③NPOと企業(人)のパートナーシップ作りのためのコーディネート、④社会的責任に関するNPO/NGOからの発信を柱に事業を進めている。

1. コンサルテーション事業

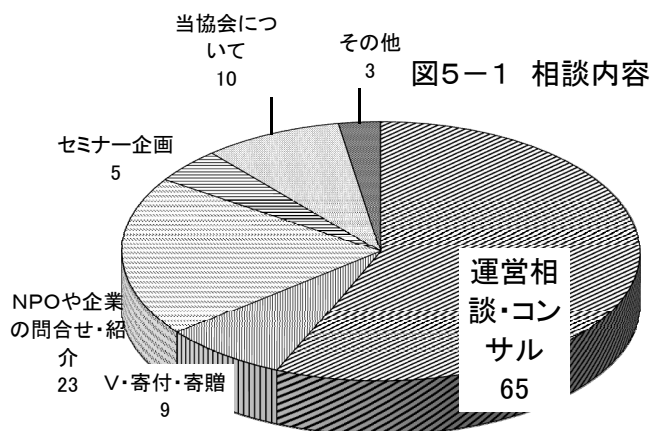
企業市民活動推進センターは、社員に自己実現の機会を提供し、NPOを通じて地域社会を活性化させ、企業市民活動に熱心な企業への社員や地域社会（顧客）の共感を高めるコーディネート機関・ファシリテート機関として、以下のようなニーズにそれぞれ応えている。

（1）企業市民活動推進センターへの相談対応

2012年度にセンターが受けた相談内容を図5-1で示す。相談件数は115件（昨年度133件）であった。そのうち92件が企業や労働組合からの相談である。

相談内容は社会貢献事業やCSRに関する運営相談やコンサルティングが最も多く65件にのぼり、これらは企業の社会貢献プログラムの企画作りの受託につながっている。次いで多いのは寄付寄贈の問い合わせ、NPOや企業に関する問合せや紹介依頼となっている。

その他の相談としては、企業や労働組合からのセミナーの企画に関する相談や、企業がボランティア活動や寄付・寄贈に取り組むにあたっての相談、当協会の事業に関する問合せなどがある。



（2）企業市民活動推進のコンサルティングと企画づくりの支援

企業市民活動推進センターは、企業の社会貢献プログラムの企画助言や事務局受託、専門員派遣なども行っている。社員向けボランティア講座受託の他、12年度に実施したコンサルティング事業は、以下のものがある。

項目	概要
積水ハウス「マッチングプログラム」の助成事務局および「アドバイザー」就任	市民活動団体への助成プログラムの協働事務局を受託。アドバイザーに水谷事務局長が就任、選考作業が行われる理事会へ派遣。プログラム助成（助成金額80万円～200万円）に13件（こども7件、環境6件）、基盤助成（上限20万円）に8件（こども5件、環境3）に助成。
阪急阪神ホールディングスの「未来のゆめ・まち基金」助成事務局の受託	阪急阪神ホールディングスが09年度から開始した「未来のゆめ・まち基金」市民団体助成プログラムの助成事務局を受託。全体設計や選定事務に協力した。14団体（地域環境7件、次世代育成7件）に総額650万円を助成。
各企業のCSR活動の助言と報告書へのコメント掲載	企業が発行する「CSR報告書」制作の際に、記述に関する助言やコメント掲載に協力した。 ※コメント協力した企業：NEXCO西日本

2. 教育・研修・研究事業

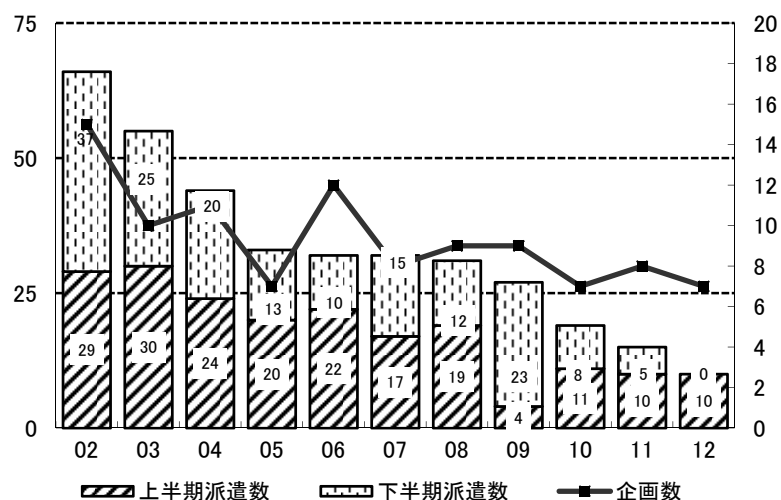
（1）社員向けボランティア講座の受託開催

2012年度にセンターが企画・進行全般の委託を受けた講座件数はのべ7件（10年度8件）。これに企業や労働組合から講師派遣だけを依頼されたのべ3件（同7件）を加えた計10件（同15件）の依頼に対して講師を派遣した。

図5-2 社員対象の教育事業

プログラム数	参加人数	依頼企業
7	100	キリングroup労働組合協議会／関西電気保安協会労働組合／(株)アイデアプラス

■企業から依頼を受けて実施した社員研修としての「ボランティア体験研修」（第1章より再掲）



(2) 「フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム」の開催

会員団体数は41社（顧問および当協会を含む。11年度42社）。のべ参加者数は322人（協会および講師を含む。前年度は312人）であった。定例フォーラムは偶数月に開催しており、開催分の内容は以下のとおりである。

<2012年度会員団体>

【新規加入企業（2）市民活動センター神戸、田辺三菱製薬(株)】伊藤ハム(株)、(株)インサイト、(株)NTTデータ関西、大阪ガス(株)、(社福)大阪市社会福祉協議会、大阪商工信用金庫、(社福)大阪府社会福祉協議会、オムロン(株)、(株)カネカ、(特活)関西NGO協議会、関西電力(株)、(株)関西マガジンセンター、近畿労働金庫、(株)神戸製鋼所、(株)シートス&ゼネラルプレス、(特活)ジャパンプラットフォーム、シャープ(株)、住友生命保険(相)、積水ハウス(株)、積水化成成品工業(株)、ダイキン工業(株)、大同生命保険(株)、(株)高島屋、(特活)トゥギャザー、西日本高速道路(株)、西日本旅客鉄道(株)、日東電工(株)、(特活)日本NPOセンター、日本テクノロジーソリューション(株)、パナソニック(株)、阪急阪神ホールディングス(株)、(社福)兵庫県社会福祉協議会ひょうごボランティアプラザ、(株)日立製作所 関西支社、富士ゼロックス(株)、三井住友海上火災保険(株)、三菱商事(株)

① 定例フォーラム

- ・第25回（4月10日、会場：近畿ろうきん肥後橋ビル）参加者：56人（20団体）
テーマ：集中講義～認定NPO法人、NPO法人会計基準を学ぶ
発題者：早瀬昇（大阪ボランティア協会・常務理事）
岩永清滋さん（公認会計士、税理士、NPO会計税務専門家ネットワーク理事長）
- ・第26回（6月20日、会場：阪急電鉄本社ビル）参加者：55人（24団体）
テーマ：関西への県外避難者の現状と課題、支援にむけて
発題者：古部真由美さん（まるっと西日本）、遠藤雅彦さん（関西県外避難者の会 福島フォーラム）、勝部麗子さん（豊中市社会福祉協議会）
- ・第27回（8月7日、会場：積水ハウス梅田スカイビル）参加者：73人（34団体）
テーマ：CSRの現在形！～植林CSR、豆乳CSR、そして
発題者：藤井敏彦さん（経済産業研究所）
- ・第28回（2012年10月9日（火）、会場：堂島リバーフォーラム2F会議室）参加者：43人（21団体）
テーマ：「リンクでダイアログ～PCLF企業のCSR報告書から」
発題者：大阪ガス(株)、関西電力(株)、積水ハウス(株)
- ・第29回（2012年12月11日（火）、会場：大阪ガスビル ホール）参加者：44人（20団体）
テーマ：「参加全社『2012年いち押し事業』プレゼン大会」
発題者：リンクアップフォーラム会員企業
- ・第24回（2013年2月12日（火）、会場：大阪NPOプラザ）参加者：51人（26団体）
テーマ：「プロボノに多角的な視点でアプローチする」
発題者：岡本祥公子さん（サービスグラント）、東郷 琴子さん、山口 大輔さん（パナソニック）
高玉要さん（インサイト）、広瀬雄樹さん（積水ハウス）

② フォーラム自主ゼミ

リンクアップフォーラム会員企業の「若手」担当者の自主勉強会。参加団体は12社で参加者数22人。（昨年同期16社、22人）

第61回 5月17日「プロボノ導入における企業の社会貢献活動の活性化」（13人）

第62回 7月12日「シャープ株式会社の『教育支援』活動」（14人）

第63回 11月29日「CSR検定、ISO26000、ソーシャル・ビジネス・マガジン」オルタナについて（16人）

第64回 2013年1月15日「PASONAグループの社会貢献活動の紹介」（11人）

第65回 3月22日「今年度のふりかえりと次年度計画」（4人）

（3）『ウォロ』「探求！SR（社会的責任）時代の企業市民活動」コーナーへの執筆連載

情報誌『ウォロ』誌上において企業市民活動の先進事例を紹介するコーナーに執筆を行った。

2012年10月号「CRMによる東日本大震災復興支援の取り組み」with 0311プロジェクト

（4）CRM（コズリレーティッドマーケティング）研究会の開催

CRM＝商品を購入することでNPOの活動などに寄付するマーケティング手法について研究を進めることで、CCCの新たなコンサル分野の開拓（収益源）につなげる。メンバーはCCC運営委員を中心に10人で構成。

第1回 テーマと問題意識、ロードマップの議論(4/16)

第2回 <事例研究1>資生堂とコクミンドラッグのWith311PJ紹介(5/30)

第3回 メディア等に見るCRM傾向分析、クラウドファンディング動向(7/9)

第4回 <事例研究2>中間大維（株式会社ヤラクス館）「社会貢献につながる商品・サービス情報の日本最大のポータルサイト”Sooooos”」(8/27)

第5回 研究まとめの骨子案検討、ロードマップ確認(10/16)

第6回 従来型寄付と参加者の行動差異分析、CRMによる若年層参加の可能性(11/28)

第7回 研究まとめの章立と論点整理(2013/1/8)

WG <事例研究3> 金田晃一（武田薬品工業株式会社コーポレート・コミュニケーション部）アリナミンPJ(1/11)

第8回 中尾悠利子（シータス&ゼネラルプレス）研究報告(3/4)「ソーシャルイノベーションカンパニー調査報告書～新しい価値を創造する企業とは～」、研究論点整理（まとめ作業論点含む）

3. 東日本大震災・被災地への支援の取り組み

（1）おもてなしカタログ vol.2、vol.3による避難者支援

震災復興応援イベント「3.11fromKANSAI」の連動企画として企業所有のリソース（博物館やコンサート）の招待メニューをカタログにまとめ、県外避難者のみなさんに提供。詳細は第5章にて。

4. 社会的責任(SR)に関するNPO/NGOからの発信

（1）「社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク」の組織化と参画

「社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク」（NNネット）に、当協会から水谷を派遣し、運営に協力。幹事団体の継続は取りやめ、会員として連携を継続している。

（2）「CSRを応援するNPOネット」への参画

当協会、および（特活）環境市民やダイバーシティ研究所が幹事団体を務める「CSRを応援するNPO・市民ネット」では、地球環境基金からの継続助成を受け「Shopping for a Better World 日本版」作成にむけた活動を継続中。